

第4回G模試の範囲は、長文が実力問題、漢字が漢字練習プリント53～59、語彙が297～407となります。また、夏期講習中に扱った知識・文法からも出題いたします。

取り組んだ日付を記入しよう。取り組めなかったものには×をつけよう。

基本メニュー (☆☆☆) 全員が必ずやるべきもの	日付
① 漢字練習プリント56～59を少しずつ進めていくこと。次回の国語授業で59の漢字テストを行います。	
② 語彙プリント 重要語句555 [次の国語授業でも371～407(「動揺」～「ばつが悪い」)のテストを実施します] →言葉を聞いて意味がだいたい想像できる、その言葉が入った文章が示された時に使われ方がふさわしいかふさわしくないかが分かる、というところまでは学習しておくことをおすすめします。	
③ 第32回 宿題その一 [解答の手がかりや問題の条件等に線を引いて解きましょう]	
④ 第32回 宿題その二 [( )の前後を読み、手がかりに線を引いて解きましょう]	
⑤ 9月中は「家庭学習用教材(9月)」に、10月からは「家庭学習用教材(10月)」に取り組む(大問一つずつ、それぞれ30分前後を目安に取り組むこと。こちらについても、解答の根拠や問題の条件等に線を引いて解くとよいでしょう。また、間違えた問題を中心に解説を読んでおくこと。巻末の解答をていねいに切り取って保護者の手元に置いておき、解説を読ませる時だけ貸し出す形をおすすめします)。	

応用メニュー (☆☆) 余裕があればやるもの	日付
① 第32回 授業で解いた演習の[記号選択]設問の復習 →授業中のメモを見てどうしてその答えになるのか確認しましょう。特に、正しくない選択肢は「どの部分が正しくないのか」まで確認できるとよいです。	
② 第32回 授業で解いた演習の[記述]設問の復習 →×または空欄だった問題はメモを見ながらでよいのでもう一度自分の力で書いてみましょう。次の国語授業時に提出があれば添削して返却します。	

### 担当からの連絡

今回は「人間とは何か」をテーマにした文章です。一般的な考えと筆者の考えの対比を意識して読むといいでしょう。文章では人間と機械(アンドロイド)の対比から、人間らしさとは何かを定義していきます。人間は機械と違い「心」や「意志」、「感情」があるという一般論に対し、「社会性のループ」に入ってしまうとアンドロイドも人間として認められるのではないかと筆者は主張します。その理由も含めて、筆者の考えを読み取っていきましょう。

設問は、傍線部の意味をおさえたうえで傍線部の近く書かれている内容をヒントに考える問題、問いかけの文について筆者の意見をふまえて考えさせる問題、内容一致問題、脱文補充などとなっています。チャレンジ問題は難度が高くなっていますが、要旨や文章全体の内容に関連する記述問題です。設問で解いてきたことや手掛かりとなる言葉、本文から読み取ったことをもとに、少しでも要素を盛り込んで書いてほしいと思います。

※今回の教材では、設問を解くときに意識してほしいことについて、前期教材に載せたものの再掲を含む形で収録しています。次回は、物語文を読むときに意識してほしいことを掲載いたします。演習に取り組む際の参考になればと思います。

**【訂正とお詫び】**

第31回テキスト「宿題」において、以下のように、解答の訂正および問題の不成立がありました。

訂正のうえお詫びいたします。

- ・宿題その一 問一 解答には「A ウ B エ」とありますが、正しくは「A エ B ウ」です。
- ・宿題その二 ①の文に「科学は技術が発明される以前から～」とありますが、元にした第31回の文章内容と異なっており、問題不成立となります。